

とんぐい村の こみ・すく通信

令和4年11月10日発 令和4年度 **第15号**

更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その10> のいのいで太鼓に挑戦

9月29日、更別小学校2年生が学校応援団であるさらべつかしわ太鼓保存会の荻原さん、川上さん、早坂さんのご支援をいただき、音楽の時間に「たいこの音を楽しもう」という内容で太鼓の演奏に取り組みました。

太鼓も踊りも楽しいのが一番です。



前半は太鼓をたたく時の姿勢やバチの持ち方を教えていただき、基本打ちの練習。その後、「子ども盆踊り」の太鼓の練習をし、最後はみんなで保存会の方の太鼓に合わせて盆踊りをしました。楽しそうに取り組んでいました。

後日、子どもたちからお礼のお手紙が届きました。

職業体験の前に学ぶ接客マナー JALのCA(客室乗務員)から



10月13日、更別中央中学校2年生がJALの客室乗務員である富岡さん、小林さんに来校いただき、「マナー講座」を行いました。

客室乗務員の仕事の内容や相手を思いやる気持ちを態度で表現することなど、生徒にとってとても勉強になる内容でした。



まずは、笑顔、姿勢、おじぎをしっかりと！

貴重な体験アイヌ文様刺繍

10月18日、上更別小学校3～6年生が北海道のふるさと教育の一環として、アイヌ民族の文化を学ぶ文様刺繍に取り組みました。

外部講師としてアイヌ文化財団から、2名の方が来校し、アイヌ文様刺繍の仕方を子どもたちに伝えてくれました。「あせらず、ゆっくり丁寧に。」「皆さん上手ですよ。」と声をかけながら丁寧に指導してくださいました。



【刺繍に取り組んでいる様子と刺繍の見本】

地域の方々が家庭科の授業支援

10月20日、更別小学校5年生の家庭科の時間に、地域の学校応援団の方々が授業支援に入ってくださいました。家庭科の地域の方による支援は、3年目の取組です。



7名の地域の方が支援



返し縫いをします



上手に縫えてますよ



アイロンでしっかりと押さえて

5年生の家庭科の内容は「エプロンづくり」。集中して作業を進めているうちに、どんどん上手になり、多くの子どもたちがエプロンを仕上げていました。支援に入ってくださいました地域の方からは「作業が丁寧」「友だち同士で教え合ったり、助け合ったりしている姿がすばらしかった」などの感想をいただきました。